



喫茶店カドにて  
1995年 © 関戸勇

# SHINPEI TOKIWA 常盤新平 —遠いアメリカ—展

2015年1月17日(土)~3月22日(日)

翻訳家にして直木賞作家、アメリカ通にして時代小説をこよなく愛するエッセイスト、あるいはアメリカの翻訳エンターテインメント小説を次々と日本に送り出した名編集者——常盤新平(1931-2013)。様々な顔をもつ常盤の根底には、20代の頃から抱き続けたアメリカへの強い憧れがありました。

仙台で幼少期を過ごした常盤は、都会への憧れと、“田舎”や“恥”の象徴であった父親から逃れたい一心で、1950年に早稲田大学へ進学。アーウィン・ショーの短編小説「夏服を着た女たち」に出会い、その都会的で洗練された世界に魅了されて翻訳家を志します。同級生が就職していく中、ただひたすらアメリカのペーパーバックや雑誌を読みふけり、アメリカに想い焦がれる日々。この頃を描いた自伝的小説『遠いアメリカ』(講談社1986年)は、人々がハンバーガーをまだ知らなかった昭和30年代の空気と、青春期の不安や迷いを見事に描きだし、第96回直木賞を受賞しました。このとき常盤は55歳。すでに翻訳家、エッセイストとして活躍していましたが、この小説を書くことによって父親の深い愛情、自分が翻訳家を志した本当の理由に気づくことになります。作家となつてからは、都会の片隅で暮らす人々の心の移ろいや日常の些事を掬いあげるエッセイや小説が多くなりますが、アメリカへの想いは終生変わることはありませんでした。

晩年の約20年間を過ごした町田で、このたび、初めての展覧会を開催します。本展では、常盤が憧れたアメリカ、彼をアメリカへと向かわせたものは何であったのかを探りだし、愚直に想いを貫いた一人の作家の生涯と作品をひもときます。



「遠いアメリカ」浄書原稿と初版本(講談社1986年8月) 当館蔵



直木賞正賞の時計 1987年 個人蔵



愛読した原書 個人蔵

## E V E N T S

### 対談／ぼくらがアメリカに夢中だったころ —「ハッピーエンド通信」編集時代

青山南(翻訳家)×川本三郎(文芸評論家)  
司会=坪内祐三(文芸評論家)  
2月14日(土) 14:00~15:30  
会場:町田市民文学館 2階大会議室  
対象:一般 定員:80名(申込順)  
申込:1月11日(日)12:00から電話で  
町田市イベントダイヤル(042-724-5656)へ

### 講演 常盤さんの担当編集者だったころ

坪内祐三(文芸評論家)  
3月1日(日) 14:00~15:30  
会場:町田市民文学館 2階大会議室  
対象:一般 定員:80名(申込順)  
申込:1月11日(日)12:00から電話で  
町田市イベントダイヤル(042-724-5656)へ

### 朗読会 ①ドリアン助川のトーク×朗読LIVE —常盤新平篇

ドリアン助川(作家・道化師)  
1月22日(木) 18:00~19:00  
会場:町田市民文学館 2階展示室  
定員:30名(申込順)  
申込:12月24日(水)12:00から電話で  
町田市民文学館(042-739-3420)へ

### ②耳で訪ねるニューヨーク —アーウィン・ショー「夏服を着た女たち」

飯原道代(俳優)  
2月22日(日) 14:00~15:00  
会場:町田市民文学館 2階大会議室  
定員:60名(当日先着順)  
申込不要(直接、会場にお越しください)

### 文学散歩 常盤新平の神田界限を歩く

①事前学習  
3月7日(土) 11:00~12:00  
会場:町田市民文学館  
②文学散歩  
3月14日(土) 11:00~13:00  
集合場所:地下鉄千代田線湯島駅  
案内:当館職員  
対象:①②とも出席できる方  
定員:15名(申込順)  
申込:1月11日(日)12:00から電話で  
町田市民文学館(042-739-3420)へ  
※文学散歩では3km程度歩きます。参加者には申込締切後、詳細をはがきにてご連絡します。

### 展示解説

日時:1月27日(火)、2月7日(土)、2月17日(火)  
3月7日(土) 14:00~(40分程度)  
申込不要(直接、2階展示室にお越しください)  
※展示解説後、ご希望の方を常盤新平が通った町田の喫茶店にご案内します。



・JR横浜線「町田駅」ターミナル口から徒歩8分  
・小田急線「町田駅」東口から徒歩12分

町田市民文学館ことばらんど

〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17  
TEL 042-739-3420/FAX 042-739-3421